

環境性能と生産性の向上を両立した 横形マシニングセンタ “HCN-4000 NEO, HCN-5000 NEO”

ヤマザキマザック株式会社（社長：山崎高嗣、愛知県大口町、TEL：0587-95-1131）は、環境性能と生産性の向上を両立した横形マシニングセンタ「HCN-4000 NEO, HCN-5000 NEO」を 11 月 8 日より販売を開始します。

昨今、国際社会全体で脱炭素社会の実現に向けた取り組みが進んでいます。製造業においても生産性の向上に加えて、消費電力や廃油等を削減した環境性能の高い工作機械が求められています。このような背景の中、当社は環境性能と生産性の向上を両立した横形マシニングセンタ「HCN-4000 NEO, HCN-5000 NEO」を開発しました。

HCN-4000 NEO, HCN-5000 NEO は、油圧ユニットやチラーユニットなどの周辺機器の環境性能も高めることで消費電力を削減。さらに、新開発のクーラントシステム（オプション）を搭載することで、従来機と比較し大幅に消費電力を抑えることができます。切削量に合わせてクーラントの吐出量を最適化することで省エネ運転を実現します。

また、選択可能な主軸バリエーションを拡大し、お客様のニーズに合わせた最適な仕様を選択することができます。NC ロータリーテーブルを標準搭載しテーブルの割り出し時間を短縮、生産性の向上に寄与します。さらには、NC 装置の加工条件設定機能「SMOOTH MACHINING CONFIGURATION」の進化により、荒加工時の加工スピードを向上することで生産リードタイムの削減に貢献します。

自動化対応では、多種多様な自動化システムとの接続も可能としており、多段パレットストッカシステムなどお客様の生産形態にあわせた最適な自動化システムを構築することができます。また油圧治具対応の強化により、長時間連続運転に適した仕様としています。

なお、HCN-5000 NEO は 11 月 8 日より東京ビッグサイトで開催される JIMTOF2022 に出展します。



【HCN-4000 NEO 外観】



【HCN-5000 NEO 外観】